

令和元年度 区長と区民の対話会 要旨

- 1 日時 令和2年2月3日（月）14：00～16：15
- 2 場所 稲毛区役所 3階 講堂
- 3 参加者 稲毛区長、稲毛区副区長、地域づくり支援室長、
千葉経済大学（教授1名、学生10名）、地域振興課職員（2名）
- 4 テーマ 稲毛区内大学の学生ならではの地域づくりについて

5 概要

自己紹介、千葉経済大学の活動報告を行った後、参加者同士で意見交換を行った。

室長：学生さんから1年間の感想や反省がありましたらお聞きしたいと思います。

学生A：今後は、ポッチャ以外のパラリンピック競技についても参加機運の醸成を目指したい。大学祭実行委員会としては、なかなか他域住民と触れ合う機会がないので、ポッチャ体験会を行ったことは良かったです。

学生B：大学祭だけでなく、他の機会にも、もっと稲毛区とのつながりを深めていきたいと思います。

学生A：ポッチャを目に触れる機会が作れたことは収穫でした。

教授：浅間神社の祭りについてはどうでしたか、できるだけ詳しく。

学生C：自転車誘導の際にお礼を言われたこと、高校生が積極的にごみ拾いなどを手伝ってくれたことは良かったです。

教授：オオガハス祭り等にもボランティア参加したが、どう思いましたか。

学生C：大学からの参加人数が少ないと感じました。

教授：本日は区長さんに参加して頂いているので、ゆりの木商店街のボランティア参加についても、何か報告があればお願いします。

学生D：ボランティアに問題はなかったが、西千葉駅交差点上の歩道橋が、穴があいたり錆びたりしていました。皆が使う場所なので綺麗にしてほしいと思いました。

教授：学生C君は、自分の体験からどんなことを感じましたか。

学生C：明日からのオリーブ轟のボランティアについても、良い活動をしたいと考えています。

教授：学生Eさんは、ほぼ1年間モノレールガールをやってみた中で、手応え等ありましたか。

学生E：モノレールガールをやらせて頂き、区長さんやいろいろな方と話す機会ができ、

大学生活では味わえない貴重な体験ができてよかったです。

室 長：皆さんは1年間いろいろな活動をされたことと思いますが、大学の活動やモノレールの活動以外で、お祭りや商店街のボランティアに参加された時、大学生以外で参加されていた方は、どんな年齢層の方が多かったですか。

学生D：高校生は多かった、その他の年齢の方はそれほどいなかった気がします。

室 長：お祭り等に参加して、実際に場を仕切っている方は、どんな年齢の方だったか覚えていますか。

(発言者なし)

室 長：学生さんとそれ以外の方は、昔からあまりともに活動することがないのかなと思います。お祭りなどの活動も若い頃からやっていた人が段々いなくなって、大学生の皆さんが代わりにやって助けてくれている状況なのかなと思います。

区 長：横から失礼します。千葉市内で、親子三代夏祭りや地域のお祭り等、いろいろなお祭りが開催されています。皆さんは、お客としてお祭りに参加したことはありますか。

(学生挙手：親子三代夏祭り2人、浅間神社祭りに2人)

区 長：ありがとうございます。もう一つ、神社のお祭りに興味がある人はいますか。

学生F：地元(他市)の神社のお祭りには参加したいと思っていますが、なかなか実現できていません。

教 授：近所の小学校のお祭りに参加した際には、正直言って「大変だなあ」と感じました。一方、轟1丁目自治会のお祭りは、学校に近いし、轟町に関係ない学校関係者であっても「お手伝いしたいな」という気持ちになると思います。

学生G：実際には、協力できるかどうかというのは、何かしら代わり映えしないと続かない。そもそも地元の人だけで毎年似たような内容をやるのではなく、そこに何か他とは違う色があれば参加しようと思いますし、若い人も増えるのかなと。

学生A：ボランティアも、学生のうちは結構参加しても、社会人になるといろいろ忙しかったりして、やれる人が減る。一般の人にも広げていけたらよいと思います。

室 長：先程、学生Gさんが「何かしら新しいことがあったら」と仰っていましたが、地元の伝統的な祭りとは地元の人が運営して神輿担いで、ということかと。そういった中で、穴川神社のお祭りとか、何かきっかけがないとボランティア参加しないと思います。どうしたら参加したい、協力したいと思えますか。

学生C：お手伝いではなく、自分でどうしたらいいか経験ができれば参加者が増えるのかなと。

教 授：自分たちで考え、実践し、中身を知り、任せてもらえる活動が良いようです。

副区長：そのことが参加者の質と参加者数増加につながっていく。夜灯祭りにしても、あのようなお祭りをやっている地域は数が少ないはずだから、写真みたいな物

をうまく出して若い人を引き付ける、人集めの一歩として重要。小さい頃から経験していると下地ができると考えるので、子供が参加して楽しみ、大人も参加して、楽しい記憶をどのように植え付けるか、皆さんにアイデアを期待したいです。子供が参加するにはこんな要素が必要、とかそんな考えを頂けると祭りは盛り上がると思います。

区 長：稲毛区の場合、小中学校が多い。若い人のクリエイティブでエネルギーなアイデアが起爆剤になれば。大型ショッピングモールを使って PR すると、活気あふれる人達に来てもらえるのではないか。

副区長：小中高大ワーキンググループやっていいアイデアを出してもらおうとか。

区 長：縦割りの。

副区長：自分たちで作った物が、形になって表れれば、今後につながっていくでしょう。例えば、オオガハスの写真とか、自分たちが撮った写真が魅力として伝われば、行ってみたいくなるのでは。自分たちが参加してみたいくなるような仕掛けや、こんなことをやったらどうかというアイデア、今年の学園祭でコレというアイデアがあったら教えてください。

学生A：芸人さんのお笑いライブ、トークショーが人気でした。

学生F：房総パズル。千葉県の良さをPR。

教 授：アキバのような感じで、オタクのみなさんの力を借りて盛り上がりたりするのもいいかと。

学生A：音楽ライブが盛り上がったので、ツイッターで拡散してもらったりしました。

室 長：アカウントは大学で作成？

学生A：大学祭実行委員で作成しました。

室 長：区民まつりでもツイッターを使ったが、あまり広がらなかった。

学生A：最終的には200か300のフォロワーがついた。

室 長：学生Eさんは、モノレールの広報の方と話をする中で、広報の人はモノレールの何を一番広報したがついていましたか。

学生E：モノレールのことを知らない人が多いので、知ってもらうことでした。

室 長：自分なりにどんな工夫をしましたか。

学生E：定期的にシステムを更新し、最新の情報を発信することが大切だと思いました。自分自身他市の出身なので、モノレールガールをやっていなかったらオオガハスイベントのことも知らなかった。こんなに素敵なイベントがあるのだと知らない人が多いのかなと思いました。

副区長：こんな所を工夫したらもっと多くの人にきてもらえる、というアイデアがあれば。

室 長：場合によっては、ボランティアの内容から外れてもいいと思います。いいアイデア、面白いアイデアがあれば次への励みになる。

学生G：最近の区民まつりは「食べる」というイメージしかない。遊ぶところがあまりなく、小中学生や高校の生徒はいるが大学生がいない印象。逆に、大学祭は高校生や小中学生があまりいない。双方のいいところが合わさったらよいのに、と思います。

副区長：大学は、自分たちより下の世代へのアピールが必要かなと感じます。高校生に「こんなことやっている」とPRするとか。カラーや活気も違ういろんな祭りを見ることによって、自分たちの祭りのテコ入れにもなるのでは。地元の祭りとは根本的に違いますが。

学生A：違いますね。地元の祭りは伝統と慣習の祭りという気がします。

室長：こちらの祭りは誰かを楽しませるとい趣旨ですね。

副区長：親子三代夏祭り時期が多少ずれるが、市内にも、だらだら祭りとか、伝統の祭りがあります。

教授：春休みの宿題として、夜灯祭りと大学祭のコラボによるフォトコンテストを、ツイッター上で実施できないか検討したい。お知恵を拝借しながら進めていきたいと思います。

ところで話は変わりますが、区役所1階の三大学掲示板について、きちんと見ている方がいらして感心しました。皆が見てくれているのだと感じました。今後独自の工夫が必要か、三大学で足並みを揃える内容が良いのか、悩むところでは。

室長：できれば大学ごとに色を出していただければと思います。大学の色を出していただければ、区役所が華やかになるので。

副区長：入ってきた人が目を向けられるようなデザインというか、こんなことをやっています、というような情報を提示して頂きたいと思います。あと、区民の皆さんと連携している、というような情報もあれば。

教授：掲示板の改善も、春休みの宿題にしたいと思います。

区長：ポスター掲示については、区民の皆さんに見てもらえるような場所については場所の問題等の制限があるが、大学に使っていただく場所については、色々工夫して頂きたいと思います。何もなかったり見にくい掲示物だったりすると、区役所のイメージダウンに繋がるかもしれないので。

教授：見ている方がいるので、きちんとやらなければと思います。

室長：学生さんの活動PRもあればと思いますが、それをやるには学校の許可が必要だと思うので、学校に帰ってお諮り頂ければ、と思います。